

授業科目名 論理学

第一看護学科  
2年次 前期  
1単位（15時間）

### I. 授業のねらい・目標

ねらい

論理的思考について理解し、表現力を高めることができる。また、適切な文章表現を学ぶ。

目 標

- 1) 文章作成の基本的な作法や用途に応じた文章の作成方法を理解できる。
- 2) 文章表現を通して、自分の意見を根拠や事実に基づきわかりやすい表現で相手に伝える方法を理解できる。
- 3) 他者の文章を読み、書き手の意見や主張を読み解き、読みやすさや適切な言葉の使い方を考えることができる。

### II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	文章を書いてみよう	講義・演習	
2	キーワードで文章		
3	敬語・映像を見て文章		
4	文章要約		
5	小論文①		
6	小論文②		
7	演繹と推論（帰納）		
8	原因を推測する		

### III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

### IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 情報科学	第一看護学科 1年次 前期 2単位(30時間)
------------	-------------------------------

### I. 授業のねらい・目標

#### ねらい

社会や人間における情報を、科学的に処理する方法を学び、情報通信技術(ICT)を活用するための基礎を学ぶ。また、演習を通して、データの収集、整理、分析の方法を学ぶ。その際、「情報」に関する基礎的な知識、「情報」を取り扱う上で必要とされる情報倫理や患者の権利について理解する。

#### 目標

- 1) 情報の定義と特徴を学び、社会における情報の有用性と情報伝達のための手段である情報通信技術(ICT)の活用について理解できる。
- 2) 保健医療における情報の種類や活用と情報倫理や患者の権利について理解できる。
- 3) 既存の情報の検索や文字情報や数値などのデータの収集、整理、分析方法を学び、情報通信技術(ICT)を用いて効果的に他者に伝達する方法を理解できる。

### II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	ガイダンス、看護情報、情報倫理と法	講義・演習	
2	情報倫理と法、医療情報		
3	医療情報、情報基礎		
4	情報基礎、情報セキュリティ		
5	知的財産権、統計とは、厚生統計の基礎知識		
6	パソコンの基本操作、ビジネス文書とは		
7	ビジネス文書の作成		
8	表現力をアップする機能、テンプレートを利用した文書、段組み/差し込み印刷		
9	Excel2013 について、表作成		
10	グラフ作成		
11	分析ツール、データベース		
12	ピボットテーブル、複数シートの操作		
13	プレゼンテーションの概要、PowerPoint について、スライドの作成		
14	スライドの作成/編集		
15	スライドショーに役立つ機能、Webによる情報収集		

### III. 使用テキスト・参考文献

#### 講師資料

※USB フラッシュメモリを各自で準備する

参考文献: 大木秀一「看護統計学入門」医歯薬出版

日本医療情報学会「新版 医学情報学第5版 医療情報システム編、情報処理技術編、医学・医療編」篠原出版新社

太田勝正、前田樹海「エッセンシャル 看護情報学第2版」医歯薬出版

一般財団法人 厚生労働統計協会「厚生統計テキストブック」一般財団法人厚生労働統計協会

### IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 心理学

第一看護学科

1年次 後期

1単位(30時間)

### I. 授業のねらい・目標

ねらい

人間の行動や原理を知り、自己を理解して他者を理解する視点を学ぶ。また、成長発達に伴う特徴と変化を知り、その個別性について学ぶ。

目 標

- 1) 人間の心理を行動や発達といった種々の視点から学び、目には見えない心の仕組みを論理的に解明するための基礎的知識を理解できる。
- 2) 人間の行動から人の心のありようを推察し、自己及び他者の理解につながる考察をすることができる。

### II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	オリエンテーション・概論	講義・演習	
2	感覚・知覚		
3	注意・記憶		
4	学習		
5	感情		
6	動機づけ		
7	知能		
8	パーソナリティ：性格の違いを考える		
9	発達①		
10	発達②：発達障害		
11	社会心理学		
12	ストレス		
13	心理アセスメント		
14	カウンセリングと心理療法		
15	まとめ		

### III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

### IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 社会学	第一看護学科 1年次 後期 1単位(30時間)
-----------	-------------------------------

### I. 授業のねらい・目標

#### ねらい

人間の社会の構造や役割、関係等を知り、社会的存在としての人間を多面的に学ぶ。また、人間として基本的な権利とそれに対する社会的知見を理解する。

#### 目標

- 1) 個である人が様々な社会集団に帰属し、人々とつながりを持ちながら生きていることを理解できる。
- 2) 家族・親族・種々のコミュニティ・国家・国際社会など、様々な社会集団や集団間の関係を知り、社会的存在としての人間を理解できる。
- 3) 集団や人間社会に通用する価値・規範・制度の体系を学び、社会構造を理解できる。

### II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	社会学、看護と社会、社会の定義	講義	
2	社会化、個人を超越した社会		
3	地位と役割、自我形成・役割形成とコミュニケーション		
4	家族社会と家族の機能		
5	近代型家族の変容		
6	地域社会		
7	社会変動		
8	社会と集団、組織		
9	組織のなかの人間労働		
10	大衆社会論		
11	社会問題		
12	人間自己家畜化論、文化の理解、自然観と信仰		
13	ライフサイクルと通過儀礼		
14	人間の死と生命		
15	生について —看護本来のすがた 運は食になり、人との出会いなり		

### III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

### IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 コミュニケーション論

第一看護学科  
1年次 前期  
1単位 (15時間)

### I. 授業のねらい・目標

#### ねらい

コミュニケーションの特性・技術を理解し、コミュニケーションの方法・カウンセリングの基本を学ぶ。

#### 目標

- 1) コミュニケーションの特徴と社会生活を営む上でのコミュニケーションの重要性を理解できる。
- 2) コミュニケーションの構成要素と成立過程を理解し、適切なメッセージを伝える方法を知ることができる。
- 3) コミュニケーションの基本的な方法について学び、それを実践できる。

### II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	第一印象、交流を作る	講義・演習	
2	一方通行、双方通行のコミュニケーション		
3	こう見る・こう見られている		
4	話す・きく		
5	カウンセリングという聴き方		
6	チームワークとリーダーシップ		
7	これからしたい20のこと 価値の明確化と行動指針		
8	コミュニケーションのスキルアップのために アサーティブコミュニケーション		

### III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

### IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 人間関係論	第一看護学科 2年次 前期 2単位 (30時間)
-------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

<p>ねらい</p> <p>人間関係を多面的に捉え、自己の他者へのかかわり方を理解し、自己成長することができる。また、カウンセリング理論と技能を学び、人間の心の機能の理解を深める。</p> <p>目 標</p> <p>1) 人間関係の意義や社会的相互作用について学び、人間理解、対人関係の持ち方、人間関係の構築のあり方について理解できる。</p> <p>2) 対人関係における自己を理解し、良好な対人関係を築くための方法を理解できる。</p>
---

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	自己理解を深める①	講義・演習	グループワーク
2	自己理解を深める②		
3	他者理解とストローク ‘与える・受け取る’ ①		
4	他者理解とストローク ‘与える・受け取る’ ②		
5	フィードバックは ‘成長の鏡’ ①		
6	フィードバックは ‘成長の鏡’ ②		
7	チームワークを作る:リーダーシップと機能的なワーキンググループ①		
8	チームワークを作る:リーダーシップと機能的なワーキンググループ②		
9	チームワークを作る:リーダーシップと機能的なワーキンググループ③		
10	‘話し合い’ の力:コンセンサスとアサーション①		
11	‘話し合い’ の力:コンセンサスとアサーション②		
12	カウンセリングというききかた①		
13	カウンセリングというききかた②		
14	カウンセリング実践①		
15	カウンセリング実践②		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料
------

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等
------------

授業科目名 スポーツ理論	第一看護学科 1年次 通年 2単位（30時間）
--------------	-------------------------------

### I. 授業のねらい・目標

ねらい	スポーツの理論と実践を通して、人間の心身の相関や協調性、主体性を学ぶ。
目 標	1) 運動やスポーツの意義や特性を理解し、健康に生活するために必要な体力づくりの必要性や方法を理解できる。 2) スポーツを通して、体の動かし方や動きの構造、安全に運動する方法などを知り、実践できる。 3) スポーツを通して、フェアプレーの精神や協力・責任といった態度を身につけることができる。 4) スポーツ実施時のけがや障害の予防法や対処法が理解できる。

### II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1・2	オリエンテーション、ウォークラリー	演習	
3	バレーボール・体力測定		
4・5	卓球・バドミントン①②		
6	バスケットボール・運動強度		
7	レクリエーション講義①ドッジボール	講義・演習	
8	レクリエーション講義②フットサル		
9	ソフトバレー	演習	
10	カバディ		
11・12	レクリエーション実践①②		
13	講義（エネルギー代謝のしくみ・運動強度・METS）	講義	
14	講義（応急処置・テーピング）		
15	エアロビクス	演習	

### III. 使用テキスト・参考文献

講師資料
------

### IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等
------------

授業科目名 英会話

第一看護学科  
1年次 後期  
2単位 (30時間)

### I. 授業のねらい・目標

ねらい

国際化に対応するために、演習を通して看護場面での実践力を身につける。

目標

- 1) 主な看護場面で行われる看護師との会話を想定したコミュニケーションをとることができる。
- 2) 外国人との対話場面を通して、生活様式や価値観の違いを知り、対応の仕方を理解できる。

### II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	Meeting a New Patient	講義・演習	
2	Talking about Symptoms		
3	In-Patient Orientation		
4	Doing the Rounds		
5	Explaining Medication: Part 1		
6	Explaining Medication: Part 2		
7	More Symptoms		
8	Review		
9	Accidents & Injuries		
10	Patient Examination		
11	Taking a Medical History		
12	Lifestyle & Diet		
13	Explaining Hospital Tests		
14	Review		
15	Test Explanation & Practice		

### III. 使用テキスト・参考文献

Bedside Manner Beginner (S. Capper) Perceptia Press

### IV. 成績評価の方法

中間テスト・期末試験